

医師からの メッセージ



回復期リハビリテーションセンターについて

回復期リハビリテーションセンター

副センター長

穂 たい

祐史 ゆうじ

皆さまこんにちは。去年の5月から回復期リハビリの仕事に携わっている穂祐史と申します。

機能的自立度評価法(FIM)の事をご存知でしょうか。これは、患者さまが日常生活でやらなければならぬ事が現状でどのくらいできているのかを判断する物差しです。運動(手足の機能)の項目は13項目、認知(脳の機能)は5項目あり、各項目の最低点が1点、最高が7点です。患者さまの入院時と中間地点、退院直前に判定をします。FIMは私が小学生の頃にもらった通信簿と何ら変わりはありません。通信簿の最高点が7になっただけの事です。この点数を円グラフ(リーダーチャート)にすると、得意な科目と苦手な科目が一目瞭然になります。円の中心付近をウロチョロしている科目は苦手で、中心から遠ざかるほど得意な科目になるといっわけです。

FIM利得とFIM効率という物差しもあります。FIM利得は退院時のFIMから入院時のFIMを引いたもので、値が高いほどリハケア効果が高かったことになります。FIM効率はFIM利得を入院日数で割ったもので、値が高いほど短期間で高いリハケア効果が得られたことになります。

私たちはFIMを用いて患者さまの評価を行います。私たちがまたFIM利得とFIM効率の点数によって他の医療機関から評価をされます。より質の高いリハケアを患者さまに提供することは、取りも直さず我々への評価とつながってくるのです。リハビリは患者さまにとってつらく苦しいものですが、くじけそうになるのを支えるのが夢と情熱です。苦しい時ほど大きな夢をもっていたきたい。そうすれば必ず抜群の成績

で卒業できるはずですよ。

なお、本誌職場紹介のページにて、当センターの紹介をしていますので、そちらも併せてご覧ください。



看護の現場から。 vol.32

看護部排泄ケア委員会
西1病棟 看護師主任 林 伸子

人が生きていくためには「食べる」ことが必要です。食べれば必ず「排泄」をします。生きていくうえで欠かせない排泄は、健康のバロメーターにもなる行為です。しかし、羞恥心を伴うデリケートなことでもあるため、排泄介助（トイレ介助）では尊厳への配慮が必要です。

今年度、排泄ケア委員会では「適切な排泄ケアのための技術向上」と「尊厳を重視した排泄ケアの介入」の二つをスローガンとして活動を始めました。排泄の

排泄ケア委員会の取り組み

知識や技術の習得を目指す「おむつフイッター^{ジュニア}」の人材育成をしています。また、尊厳を重視した排泄ケア介入は、各病棟での問題点を話し合い、今年度の目標と対策を決めて取り組みを行っています。

『おむつフイッター^{ジュニア}』とは？

排泄のトラブルに対して、その人に合った排泄用具の提案をし、さらに食事など幅広い視点からアドバイスできる人に与えられる資格です。今年度は、12名の受講者が、排泄のメカニズム（失禁のタイプ、便秘のケア）にはじまり、暮らし全体からみた排泄ケア、排泄に悩む人たちの生活を向上させるためのさまざまな知識を学びます。来年、2月に最終テストがあります。「おむつフイッター^{ジュニア}」全員合格を目指して頑張っています。また、月に1回の委員会開催時に勉強会を行っています。排泄に関するテーマを決め、勉強会の内容を持ち

帰り、部署で情報共有をして排泄ケアに活かしています。

各病棟 排泄ケア取り組み目標

【1病棟】

◎ 排泄情報の把握を行い、入院前の排泄状況を目標に援助を行う。

【2病棟】

◎ 日常生活動作に合わせた排泄ケアの介入と退院に向けた援助を行う。

【3病棟】

◎ 日常生活動作を低下させず、排泄に関する思いを尊重し、入院前の排泄状況に近づける援助をする。

【西1病棟】

◎ 排泄状況にあったトイレ誘導を行い、尿失禁を減らすことができる。

【西2病棟】

◎ 尊厳を遵守し、おむつ交換時に「声かけ」と「タッチング」を行う。



おむつ講習会の様子

現在、排泄ケアの対策を実施した結果をまとめ、評価をしています。排泄にかかわる問題は、とてもデリケートな部分です。排泄ケア委員会では、その人らしい排泄ができる援助を今後も行っていく予定です。

医療技術

NEWS

vol.34

「進化するマンモグラフィ装置」

放射線技術室 技師長 安達 英俊

ピンクリボンとは

近頃よく見る「ピンク色のリボンのマーク」、この意味をご存知ですか？

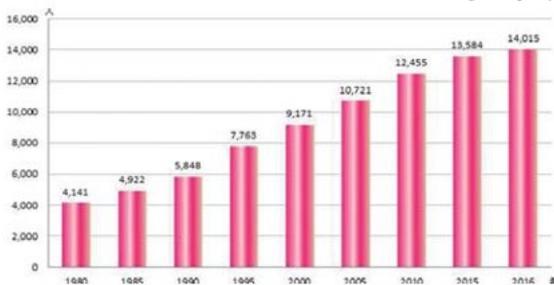


ピンクリボンとは乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の早期受診の大切さなどを伝え、その結果乳がんから引き起こされる悲しみから一人でも多くの人を守る活動の世界共通のシンボルマークです。

増える乳がん

日本では乳がんが増加しており、生涯に乳がんを患う日本人女性は、現在、11人に1人(※1)と言われています。2016年には9万人の日本人女性が乳がんにかかるかと予測(※2)されました。乳がんので亡くなる女性は2013年には1万3千人を超え、35年前と比べて3倍以上にもなっています。厚生労働省が発表した「人口動態統計(※3)」では、2016年の乳がんによる死亡数は1万4千15人(確定数(女性))と残念ながら増加し続けています。女性の30歳から64歳では、乳がんが死亡原因のトップとなっています。

女性の乳がんの死亡数



早期発見の重要性

乳がんに限らず、がんになつてしまった場合に一番気がかりなことは「生存率」ではないでしょうか。生存率は、簡単に言うと命が助かる確率です。それでは乳がんの生存率は？ 早期がんでは約95%、局所進行乳がんでは約70%、末期がんでは約29%の生存率となっており、いかに早期発見が重要であるかがわかると思います。早期発見に有効な画像診断検査にマンモグラフィがあります。

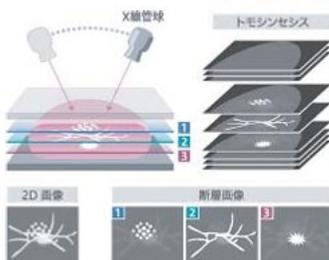
進化するマンモグラフィ技術

マンモグラフィとは、X線で女性の乳房を撮影し、病巣を発見する装置のことです。しかし、従来のマンモグラフィ(2D)装置では、乳腺の厚さによつては病変と乳腺組織とが重なり、病変部が分かりにくくなる可能性があります。この弱点を補う技術がトモシンセシス(3D)です。トモシンセシスは、多方向から撮影した

画像を3次元化し、必要な断面画像のみを表示することができ、病変と乳腺組織が重なつていても、病変の描出が容易となりました。

当院では、2017年4月に最新のトモシンセシスマンモグラフィ装置に入れ替えています。撮影はマンモグラフィ撮影認定技師をはじめとした女性技師が担当しています。

また、健診センターは、マンモグラフィ検査施設画像認定を取得しており、撮影も女性技師が行っています。希望者には、当院トモシンセシスマンモグラフィ装置での撮影も可能であり、質の高いマンモグラフィ検査を安心して受診して頂けます。



※1.. 国立がん研究センターがん対策情報センター「最新がん統計より(2016年8月2日更新)」
 ※2.. 国立がん研究センターがん統計より
 ※3.. 厚生労働省人口動態統計「確定数」より(2017年9月15日発表)

職
場
紹
介
32

回復期リハビリテーション病棟

西1病棟 看護師主任 加藤 彩



今回は回復期リハビリテーション病棟の紹介です。回復期リハビリテーション病棟は、西館の2階にあり、本館2階から渡り廊下を渡った所に位置します。

当病棟は脳血管疾患または大腿骨頸部骨折などの病気で急性期を脱し、医学的・社会的・心理的なサポートが必要な患者さまに対して、多くの専門職種（医師、看護師、看護補助者、理学療

法士、作業療法士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカー）がチームを組んで集中的なリハビリテーションを実施し、心身ともに回復した状態で自宅や社会へ戻っていただくことを目的とした病棟です。

「食事は食堂で」、「排泄はトイレで」、「保清は浴室で」を目指し、リハビリスタッフからの情報を共有し、活動能力に合わせて看護援助に繋がっています。入院生活そのものが生活リハビリテーションです。当病棟の患者さまは、日中は日常着で過ごされているので病棟の雰囲気も明るく感じます。

また、ベッドや車いすをはじめ、福祉用具の充実をはかり、季節の行事をレクリエーションに

取り入れるなどリハビリテーションを行いやすい環境設定を心がけています。

退院援助に関しては、家族面談や写真での家屋評価、必要に応じて家屋訪問を行い、住宅改修の提案や必要な看護処置などの家族指導を行っています。

私たちスタッフは、患者さまの退院後の生活についてご家族とともに考え、オーダーメイドリハビリが提供できるよう支援しています。

入院可能な疾患や期間は厚生労働省の規定で決まっています。当院のみならず、地域連携により他院からでも受け付けていますのでご相談ください。



数独



数独の解き方

1. タテ9列、ヨコ9列のそれぞれに1~9までの数字が1コずつ入ります。
 2. 太線で区切られた3×3の枠内（マスは9コ）にも1~9までの数字が1コずつ入ります。
 3. 従って、タテ、ヨコ、枠内で、同じ数字が重複して入ることはありません。
- とにかく、算数無用、注意力の勝負、なるべくラクをして、かつスマートに解いていきましょう。

答えは8ページ目をご覧ください。

				8	1			
	5			9				
	1	7		6				5
2			5		4	7		
	8	9		3				6
4			2		7	8		
				6			1	
		2	9					

知っ得!! 情報

第34回

診療情報管理士をご存知ですか

診療情報管理室 主任 大井 麻由美

当院では医師をはじめ、看護師、臨床検査技師、薬剤師といった様々な職種があります。その中のひとつに診療情報管理士という職種があります。みなさんはどんなお仕事かご存知でしょうか。

診療情報管理士とは

診療録（カルテ）、検査記録・画像記録といった患者さまに係る全ての診療情報を適正に管理する責任者です。また、そこから得られるデータを集めて加工・分析することで、患者さまへの情報開示や、病院の経営、医学研究などケースにあった情報を提供しています。

おもな仕事

①カルテの点検

記載漏れはないか、未完成・不備はないかカルテの内容を点検し、不備があったものは該当部署へ修正を依頼します。また、患者さまの入院から退院までの経過・治療内容を要約した記録（退院サマリ）は特に重要視しており、退院後の外来診療への引継ぎや他医療機関への紹介状の資料として活用されています。

②診療情報の管理

病名、手術、主治医、診療圏、入院経路、紹介医療機関など、患者さまの入院から退院までの様々な診療情報をアルファベットや数字で構成されたコードで入力し、コンピュータへ登録します。コードで入力することにより、検索や統計の作成を迅速に行うことができます。

③診療情報の提供

登録した情報を活用し、医師や看護師における症例研究の資料、医事紛争時の証拠資料、病院経営の報告資料など、様々な場面で情報を提供しています。また当院では、インフォームドコンセントの理念や個人情報保護の考え方を踏まえ、患者さまからの求めに応じ、診療記録の開示を行っています。

病院の財産であるカルテを管理するためにも診療情報管理士は必要とされています。

院長から
みなさまへ

第23回

胃がんについて

院長 小森義之



1981年以来、我が国の死亡原因の第1位はがんであり、その中で、胃がんは長年がん死亡原因の第1位の座を続け、我が国は世界で最も胃がんの多い国でした。その後、胃がん検診を中心とした早期発見、早期治療につとめた結果、胃がんの死亡率は大きく低下しましたが、患者数では依然第2位（男女計）であり、胃がん予防対策は現在も我が国の大きな課題です。

1982年にヘリコバクターピロリ菌（ピロリ菌）が発見され、胃がんとの関連が明らかにされてきました。ピロリ菌が胃の粘膜に感染すると、胃炎、胃潰瘍などを起します。胃炎によって、粘膜はだんだん萎縮していき、炎症が長い期間

持続することにより、胃がんが発症すると考えられています。ピロリ感染者が全員胃がんになるわけではありませんが、ピロリ感染者は生涯で1割近くが胃がんを発症するといわれています。また現在では胃がんの多くがピロリ菌の感染によって生じると考えられています。ピロリ菌に感染しているかどうかを確認する検査には、胃内視鏡を使用してピロリ菌の持つ酵素（ウレアーゼ）を確認する迅速ウレアーゼ試験、病理学的な顕微鏡検査などの方法があります。内視鏡を使用しない検査には、尿中や血中の抗ピロリ菌抗体測定、便中のピロリ菌抗原測定、尿素呼吸気試験などがあります。

ピロリ菌が陽性だった場合は、まず内視鏡検査を受けて胃がんの有無を確認して、今後の胃がん発生を予防するためにも除菌治療をお勧めします。除菌が成功した場合でも、胃がんのリスクが全くなくなるというわけではありません。定期的に胃内視鏡検査を受け、もしがんができたとしても早期に発見し治療することが大切です。

第39回院内コンサート


 ハーブクィーンズによる
 ～大正琴コンサート～


10月14日(土)午後よりハーブクィーンズによる「大正琴コンサート」が本館1階ロビーにて開催されました。大正琴とサウンドによる『琴城流大正琴アンサンブル』で、NHK朝の連続テレビ小説「ひよっこ」の、桑田佳祐さんが歌う「若い広場」など今時の曲を披露してくださったり、大正琴だけの音を使い、皆と一緒に「幼なじみ」や「ふるさと」を歌ったり、懐かしさを感じさせて頂くことができました。また、クラシックやジャズといったジャンルの音色も凄く素敵で、つつい手拍子してしまう程、会場がとても楽しく盛り上がりました。

今回で当院にお越しいただくのは2回目となるハーブクィーンズの皆さま。いつも素敵な音色にいやされます。ありがとうございました。

広報委員 坊野 紋菜



第40回院内コンサート


 RAKUDAチャイムクワイア
 トーンチャイム
 クリスマスコンサート


12月9日(土)の午後2時から、外来ホールにてRAKUDAチャイムクワイアの皆さまによる「トーンチャイムクリスマスコンサート」が開催されました。年末恒例のクリスマスコンサートを楽しみに、患者さまをはじめ多くの方々にお越しいただきました。

今回は「もろびとこぞりて」からはじまり、「ジングルベル」や「赤鼻のトナカイ」などクリスマスソングを含め12曲を演奏していただき、外来ホールにはトーンチャイムの音色が響き渡りました。また、「星影のワルツ」や「雪やこんこ」など一緒に歌える曲や楽器の説明も聞くことができ、楽しい一時が過ぎました。

RAKUDAチャイムクワイアの皆さま、素敵な演奏をありがとうございました。

広報委員 田口 正男



情報ステーション

Aoyama
Hospital
Information
Station

第33回公開講座のお知らせ

テーマ **脳卒中を予防しよう**

参加
無料

講師

総合青山病院
脳神経外科部長

野村 契 先生



日時 平成30年2月24日(土) 13:30~

場所 総合青山病院 5階 講義室

お問い合わせ TEL 0533-73-3777

第9回 健康教室のお知らせ

テーマ 「かかりつけ薬局を
活用していますか？」

講師

薬剤師

石黒 貴洋 先生

日時

平成30年2月23日(金)
15:00~

場所

総合青山病院 健診センター 4階
多目的ホール

お申込み

TEL 0533-73-3784

(事前に健診センターへお申込み下さい。)

参加
無料

第41回

院内コンサートのお知らせ

参加
無料

小坂井高校
吹奏楽団
コンサート



日時 平成30年3月17日(土)
14:00~

場所 総合青山病院 1階 外来ロビー

参加 自由(無料)

健診のお知らせ

もっと健康。ずーっと元気。
1年に1度は健診を
受けましょう。



総合青山病院 健診センター 問合せ▶0533-73-3784

総合青山病院

検索

ご意見

3病棟 入院患者さま

自動販売機の水(ペットボトル500ml)が売切れになっていました。入院患者などは健康のためや薬を飲むために水のペットボトルをよく買うと思います。

病院の自動販売機には水のペットボトルを増やしてほしいです。



ご迷惑をおかけし、大変申し訳ございません。

現在、ペットボトルの水(500ml)を増やすよう調整をかけております。準備が整うまで今しばらくお待ちください。

また、病棟では給茶機(無料)がございます。温かいお茶、冷たいお茶、冷水、お湯をご用意しております。そちらもご自由にご利用ください。

ご意見&ご要望

**ふれあい箱
の回答**

たくさんの
ご意見ありがとう
ございます。



2病棟 入院患者さま

お褒めの言葉

人生初めての入院で不安と心配で迷いましたが、決心しました。病院へ来てみると親切な先生方、明るくて優しい看護師さん、そして食事を運んで下さるみなさんと接しホッとしました。ありがとうございました。9日間の入院でしたが楽しく過ごすことができましたこと、感謝いたします。

温かいお言葉をありがとうございます。

今後も、患者さま側に立った医療を目指し、職員一同邁進してまいります。

遊びの広場の解答

9	2	4	3	5	8	1	6	7
6	5	8	7	9	1	3	4	2
3	1	7	4	2	6	8	9	5
2	3	6	5	8	9	4	7	1
1	4	5	6	7	2	9	3	8
7	8	9	1	4	3	5	2	6
4	6	1	2	3	5	7	8	9
5	9	3	8	6	7	2	1	4
8	7	2	9	1	4	6	5	3

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

今年は戌年です。一説によると、昨年の酉年は『収穫の年』でしたが、戌年は『収穫の後の段階』で、地盤を守る意味があると言われてます。また、スタートの年の傾向も見られ、12年前の戌年はワールド・ベースボール・クラシック開幕や神戸空港の開港、携帯電話の番号ポータビリティの開始などがありました。今年も何か新しい制度が始まるかもしれませんね。皆さん自身も新たなスタートを迎えることがあるかもしれません。

さて、広報誌「ふれあい」は、地域の皆さまに少しでもお役に立てる情報をお届けできるよう引き続き頑張ってまいります。今年もよろしくお願い致します。

病院の理念

患者さま側に立った全人的医療を目指します

基本方針

- 地域の中核病院として安全で質の高い医療に努めます
- 患者さまが安心出来るゆきとどいた診療を提供します
- 患者さまに信頼されるゆきとどいた看護を提供します
- 患者さまに満足されるゆきとどいたサービスを提供します
- 患者さまがやすらげる快適な環境を提供します

患者さまの権利

1. 適切で質の良い医療を受ける権利を有します
2. ご自分の医療の内容について知る権利と説明を受ける権利を有します
3. ご自分の医療の内容について自由に選択し決定する権利を有します
4. ご自分の医療について他の医師の意見を聞く権利を有します
5. 人格を尊重されプライバシーを保護される権利を有します
6. ご自分の診療録の開示を求める権利を有します